

チームの愛称にちなみ、サメのポーズを取る（左から）工藤祐太郎監督、熊谷雄一市長、西野功晴主将、山下祐史ヘッドコーチ



# 八学大「悲願の一勝を」

## ラグビー全国出場 大学選手権 主将ら市長に抱負

19日開幕の第60回全国大学選手権に出場する八学大男子ラグビー部は16日、八戸市庁に熊谷雄一市長を訪ね、「予選はいい形で試合を進められた。全国大会では悲願の一勝を果たしたい」と抱負を語った。八学大の選手権出場は5年連続6度目。

八学大は今季、東北地区のリーグ戦を4勝1分けで首位通過。東北1位として臨んだ北海道地区との交流戦は3勝無敗で優勝し、全国の切符をつかんだ。

今年のチームは、西野功晴主将（八戸西高出）のキックが武器。精度の高いキックで陣地を回復し、ラインアウトからモールで押し込む戦術を得意とする。

16日は西野主将と工藤祐太郎監督、山下祐史ヘッドコーチが市庁を訪問。熊谷市長は勝利を挙げられなかった過去5度の挑戦に触れて、「勝って、また報告に来てほしい」と激励した。

西野主将は取材に「対戦相手の映像を見たが、勝つチャンスはある」と強調。「全国はアタックの機会が少なくなる。（ドロップゴールやペナルティーゴールによる）3点を積み重ねるなど、戦法を変える必要がある」と勝利を見据えた。

八学大の初戦は19日、名古屋市で東海・北陸・中国・四国地区代表の中京大と対戦する。

（桑田友人）